

☆☆☆毎月8日は畜舎一斉消毒の日☆☆☆

## 水田放牧のススメ

### 2012. 1. 11-12 市場研修会

おおいた肉用牛振興協議会

**放牧で、労力の低減や牛の管理作業の軽減に取り組みましょう。**

#### 放牧の効果

(作業が楽になります)

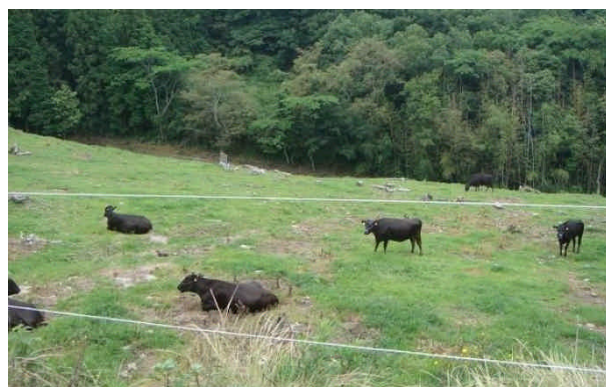
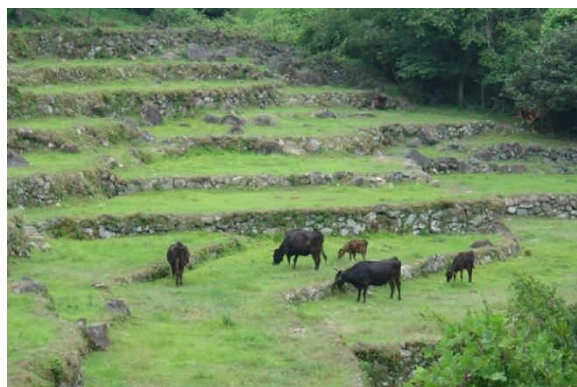
牛が放牧地で直接採食することで、飼料の調製や給与の手間が省けます。草地に糞尿を直接還元するので、除糞作業が軽減されます。

(牛が健康になります)

舎飼いに比較して、牛が自由に行動できることから健康増進、繁殖性の向上、子牛の下痢発生の低減などが期待できます。

(生産コストが低減できます)

放牧により、労働費や飼料費の削減が期待できます。



(交付金が活用できます; 平成24年度政府予算案)

水田に飼料作物を作付けし、牛を放牧した場合、最大 69,000円/10aの交付金が支払われます

水田活用の所得交付金	戦略作物助成	35,000円/10a
	耕畜連携助成	13,000円/10a
中山間直接支払制度	水田(急傾斜)	21,000円/10a

(水田放牧にかかるコスト: 1haあたりの例)

牧柵一式(400m×2段)	電気牧柵	150,000~180,000円程度
病気の予防	ダニ駆除薬(25頭分)	16,400円(1頭あたり=656円)
	肝蛭駆虫薬(10頭分)	2,800円(1頭あたり=280円)

## 放牧の手順

### (放牧地の選定)

基本的に牛が食べる草があるところはほぼ放牧が可能です。  
水飲み場がない場合には簡易水槽などの設置が必要です。

### (放牧牛の用意)

放牧は必ず2頭以上で放牧してください。初めて放牧する場合は、放牧経験牛と一緒に放牧することをおすすめします。

### (放牧前の準備)

- ・放牧にあたっては放牧は自然環境の変化や飼料の変化に適応させるため、入牧一ヶ月まえから気象条件や青草に徐々に慣らしていく必要があります。
- ・削蹄と除角をしてください。
- ・放牧牛には寄生虫病予防のためダニ駆除剤の塗布や、流産・奇形などの蚊などが媒介する病気を予防する為のワクチン接種をしておいてください。



### (放牧中の注意)

- ・放牧地の周辺の有毒植物(シキミ、ワラビなど)を牛が採食しないよう注意してください。
- ・1日に最低1度は見回りを行い、事故の防止や病気の早期発見に努めてください。
- ・見回りの際は濃厚飼料(フスマ等)を与え人に寄ってくるよう習慣づけてください。
- ・電気牧柵にちゃんと電流が流れているか時々チェックしてください。

### (放牧終了の目安)

ススキ主体の放牧地では1haで2頭で半年の放牧が可能です。  
草の状態によっては、栄養が不足することもありますので牛の状態を見ながら別の放牧地に移動するなどの対応をしてください。

#### ○ 放牧地変更のポイント

- 電気牧柵の外側の草をしきりに採食する
- 牛同士が離れて採食する。
- 電気牧柵の外側を気にし、人を見ると近寄ってくる。